

JAグループ福島 紹介パンフレット



耕そう、大地と地域の未来。



JAグループ福島のご紹介（JA・協同組合）

JA・協同組合

JAグループ福島

JAグループ福島の事業

まとめ



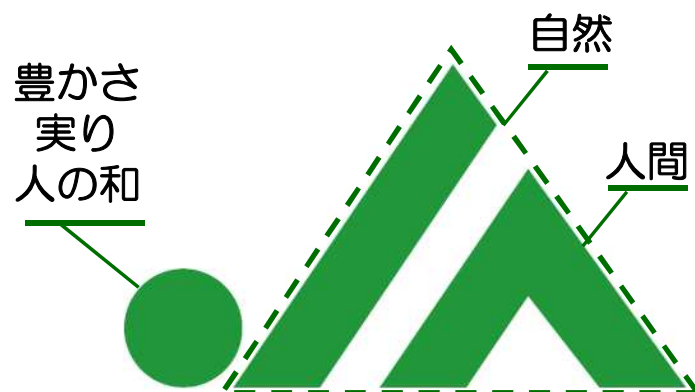
JAってどんな意味？

- JAは「**農業協同組合**」の愛称です。
- JAは「**J**apan **A**gricultural Co-operatives」
（日本の農業協同組合）の略。
- 正式名称は「**〇〇農業協同組合**」
- 愛称は「**JA〇〇**」 「**農協**」



JAマークの意味

- JAマークには、大事な意味が込められています。



J apan(日本)

A gricultural(農業の)

Co-operatives(協同組合)

JAマークは「ゆるぎない大地」「日本の国土」をイメージ
三角形 ▲ は「自然」、△ は「人間」を表現
● は「農業の豊かさ」「実り」「人の和」を象徴

JAは「協同組合」

- JAは、**相互扶助の精神**（※）のもとに、組合員の**営農**と**生活**を守り高め、**より良い社会を築くこと**を目的として作った**協同組合**です

（※） 自立した個人が連帯し、助け合う精神。

「扶」＝助ける、「扶助」＝助け合うこと。

一人ではできないことをみんなで協力して実現



協同組合とは？

- 株式会社とは異なり、「**営利を第一の目的としない**」組織
- 必要としてくれる**組合員**の存在があって初めて成り立つ組織
(正組合員＝農業者、農業を営む法人など)
(准組合員＝組合の地区内に住所を有する地域住民など)
- 同じ目的を持つ人々が「**協働**」して活動を行う組織
- **地域密着**の組織。地元を愛し、愛される働き方ができる。



(全国のJA数：584JA) 令和2年4月現在 (福島県内には5JA存在)

組合員とは？

／ JAは地域に根ざした協同組合です ／

正組合員

農業を仕事に
されている方です

准組合員

農業以外の仕事をしてい
る人でJAに出資金を支
払い手続きをした方です

組合員 でない方

制限が発生する
場合もあります

協同組合と株式会社の違い

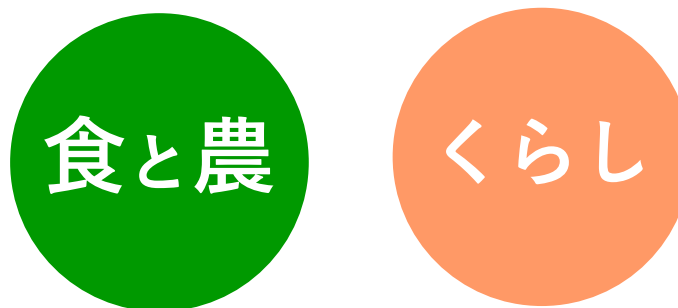
	協同組合	株式会社
目的	組合員の生産と生活の向上	利潤追求
組織者	組合員 (農業者・漁業者・消費者・事業者など) 様々	投資家・法人（株主）
利用者	組合員	不特定多数
運営者	組合員	株主に代わり運営する経営者
運営方法	1人1票制	1株1票制

小まとめ

JA（農業協同組合）は、農業の持続的な発展と安心して暮らせる豊かな地域社会の実現を目指しています！



その目的を実現するために、JAは、



に根差した様々な事業を行っています！

JAグループ福島のご紹介（JAグループ福島）

JA・協同組合

JAグループ福島

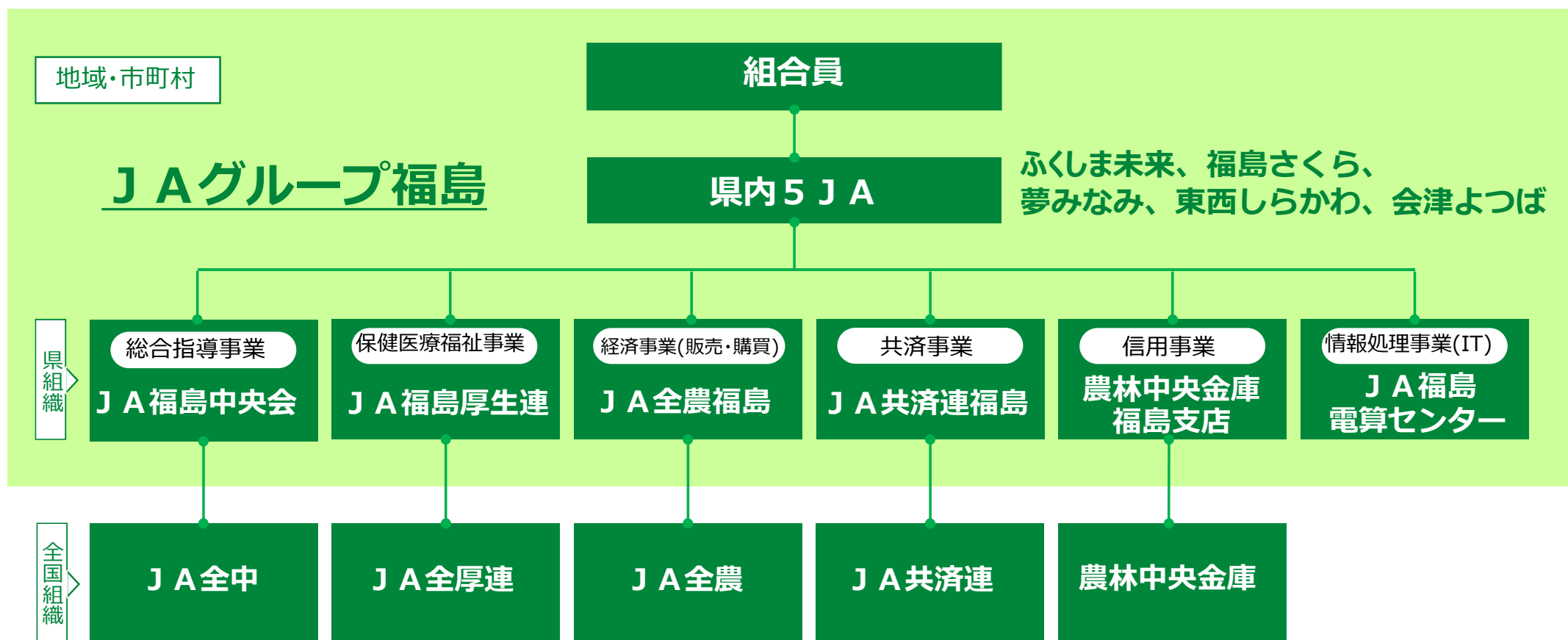
JAグループ福島の事業

まとめ



JAグループ福島の組織

- わたしたちは、**県内5 JA**と、**県組織（連合会・関係団体）**を併せて、「**JAグループ福島**」と呼んでいます。



JAグループ福島の組織

県内 5 JA

JAふくしま未来
JA福島さくら
JA夢みなみ
JA東西しらかわ
JA会津よつば

JA会津よつば

JA夢みなみ

JAふくしま未来

JA福島さくら

JA東西しらかわ

連合会

JA福島中央会
JA福島厚生連
JA全農福島
JA共済連福島
農林中央金庫

関係団体

JA福島電算センター
など

JA（県内5JA）

県内5JA

JAふくしま未来
JA福島さくら
JA夢みなみ
JA東西しらかわ
JA会津よつば



JA会津よつば



JAふくしま未来



JA福島さくら



JA夢みなみ



JA東西しらかわ

各JAは地域に密着した
事業・サービスを展開！
＝総合事業

JAの事業

事業形態：総合事業

信用事業 共済事業

指導事業 経済事業



連合会・関係団体の役割

JA規模・事業領域の拡大に対応し、
組合員への貢献を最大限に高めるため



専門性の追求

JA事業を専門的サポート
するのが連合会・関係団体

連合会の事業

事業形態：単一事業

厚生連	⇒厚生事業
全農	⇒経済事業
農林中央金庫	⇒信用事業
共済連	⇒共済事業
中央会	⇒経営指導など

JAグループ福島のご紹介（JAグループ福島の事業）

JA・協同組合

JAグループ福島

JAグループ福島の事業

まとめ



JAの事業

事業形態：総合事業

信用事業 共済事業

指導事業 経済事業





預金
貯金

お金を貯めるから**貯金**

一般企業
JA

預金と貯金、保険と共済どちらも同じ意味

違い

誰を主役におくか

JAは**組合員が主役（JA＝組合員）**



保険
共済

何かあった時に
共に助け合うから**共済**

JAの信用事業（１）

JA
信用事業

連合会
農林中央金庫

組合員から貯金を受け入れ
組合員に貸し出すという相互金融



（総称）

意味のある銀行

実質的にひとつの金融機関として機能
日本全国で民間最大級の店舗網を展開

貯金・ローンなど各種金融サービスの提供
地域の身近で便利、安心のメインバンク

預金/貸出/農林債権の発行/
為替業務/国際業務/証券業務

JAの信用事業（２）

JA
信用事業

連合会
農林中央金庫



実質的にひとつの金融機関
日本全国で民間最大級の

市町村段階

都道府県段階

全国段階

農業者等

JA

JA信連
(信用農業協同組合連合会)

農林中央金庫

農林中央金庫
統合県支店

預金/貸出/農林債権の発行/
為替業務/国際業務/証券業務

JAの信用事業（3）

JAバンクの会員数

JA **613** 信農連 **32** 金庫 **1**

646の団体が一体的に事業運営

（2019年4月1日時点）（出所）農林中央金庫調べ

JA組合員数

1,051 万人



（出所）農林水産省 総合農協統計表（2017）

国内総店舗数*



国内 **2** 位

- 全国 7,825 店舗
- 国内シェア 14.4%

* JA数・店舗数は内国為替取扱JA・店舗（2018年3月末）
（出所）金融ジャーナル増刊号

JAバンク貯金残高

103.2 兆円

（2019年3月末）



移動店舗の導入台数

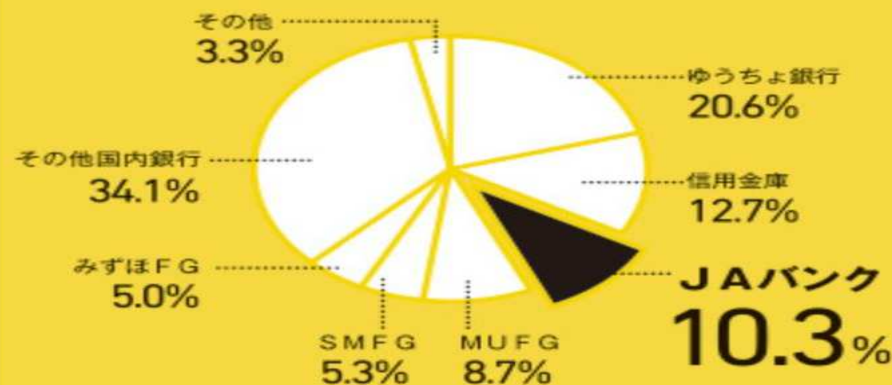
85

（2019年3月末）



JAバンク個人貯金シェア

国内 **3** 位



（2018年9月末）
（出所）日本銀行資料、各金融機関の決算説明資料をもとに農林中央金庫作成

JAの信用事業（４）

- 貯金の受入れ、資金の貸付などを行います。
- 銀行では「預金」と言いますが、JAの
主役である組合員がお金を「貯める」こと
から、JAでは「貯金」と言います。
- 組合員が、トラクターなどの農業機械や、住宅・自動車など
大きな買いものをするときには、JAからお金を借りたり、
お金に関する各種相談を行うことができます。
- 窓口、MA（マネー・アドバイザー）などの仕事があります。



JAの共済事業（１）



JA
共済事業

JA共済連福島

 **JA共済**

仕組み

ひと・いえ・くるまの**総合保障**

リスクに備えるのではなく
人々の人生そのものを守る

共済と呼ばれる由縁
『何かあったときに共に助け合う』

JAの共済事業（2）

※数値は平成29年時点

総資産

58兆1,890億円



JA共済が保有する総資産は、日本の国家予算の半分ほどに相当します。このうち、50兆円以上もの金額を国際・株式・不動産などに運用しており、世界有数の機関投資家として、経済に大きな影響を与えています。

新契約高

32兆697億円



新契約高とは、1年間で新たにご契約いただいた保障額の合計のこと。この数字には、これまでの実績に対する信頼、そして今後への期待が表れています。JA共済の新契約高は日本でトップクラス。私たちはこれからも、その信頼と期待に応えるべく、新たな保障やサービスを生み出すための挑戦を続けていかななくてはなりません。

共済掛金

4兆5,599億円



共済掛金とは、共済の加入者から払い込んでいただくお金のこと。保険会社で言う「保険料」に相当します。ご契約者一人ひとりから託された大切な共済掛金。それを、万が一の際に困っている方のために活かす。その架け橋となることが、私たちの仕事です。



保有契約高

259兆9,573億円

保有契約高とは、ご契約いただいている保障額の合計のこと。この数字は、保険会社等の事業規模を表す最も一般的な指標のひとつであり、信頼の証拠ともいえるものです。JA共済の保有契約高は世界でも指折りの規模。私たちの仕事は、その大きな信頼に応えることに他なりません。

JAの共済事業（3）

- 組合員が**病気**になったり、**事故**で**ケガ**をしたり、**地震**で家が壊れてしまった時など、**いざというときに、みんなが出し合ったお金で支える仕組みが「共済」**です。
- 民間企業では「保険」と呼ばれますが、何かあった時に組合員がお互いに助け合うことから、JAでは「**共済**」と呼んでいます。
- JAでは、地域の皆さんが交通事故にあわないよう、**交通安全教室**を開くなど、**地域貢献活動**も行っています。
- **窓口**や、**LA（ライフアドバイザー）**などの仕事があります。



JAの経済事業（1）



The diagram illustrates the organizational structure of JA. At the top is a red oval containing the characters '全農' (All Nippon Agriculture). Below it is a blue box labeled '全国本部' (National Headquarters). This is connected by a double-headed blue arrow to another blue box labeled '県本部' (Prefectural Headquarters). Below that, another double-headed blue arrow connects to a blue box labeled 'JA経済事業' (JA Economic Activities). The background of the diagram features two photographs: the top one shows people in a warehouse setting, and the bottom one shows a busy market stall with various vegetables.

全農

全国本部

県本部

JA経済事業

経済事業

購買事業（資材の供給）

飼料・肥料・農業資材・農業機械
・包装資材等の購買

日用品・ガス・石油等の生活物資
の購買

販売事業

農畜産物の販売・加工

JAの経済事業（販売事業）

- 生産者が作った農畜産物を販売します。
- 例えば、収穫したお米を集めて、カントリーエレベーターと呼ばれる施設で乾燥・調整・出荷をしたり、野菜や果物をJAの選果場に集めて、まとめて市場に出荷します。
- また、毎朝新鮮な農畜産物が並ぶ「農産物直売所（ファーマーズ・マーケット）」も、販売事業の一つです。地元で採れたものを地元で消費する「地産地消」を進めています。



JAの経済事業（購買事業）

- 農業に必要な資材（肥料や段ボールなど）を組合員に供給しています。
- 生産資材をJAが計画的に大量に仕入れることで、組合員は質の良いものを安く購入することができます。
- 農業に必要なものの以外にも、食料品や生活必需品、ガソリンスタンドやLPガスの販売、スーパーマーケット（Aコープ）など、組合員のくらしに必要なサービスを提供しています。



JAの営農指導事業

- 「どうすれば、もっとおいしいお米を育てられるか？」「病気から野菜を守るにはどうしたらよいか？」など、おいしくて安全・安心な農産物を作るための様々な支援を行っています。
- 「営農指導員」と呼ばれる担当者を中心に、生産者の田んぼや畑を巡回して相談に乗ったり、JAからの情報提供を行っています。
- 農業を軸とするJAの「カナメ」となる事業です。



JA福島厚生連

医療

教育

JA福島厚生連

事業職種：医療・福祉サービス

公的医療機関として
農家組合員・地域住民の健康を守り、
豊かな地域づくりに貢献

医療/保健/福祉/教育

福祉

保健

JA福島中央会



JA福島電算センター

JA福島電算センター

業務内容

JA業務を中心としたシステムの
企画・開発・運用・研修



JAグループ福島のご紹介（まとめ）

JA・協同組合

JAグループ福島

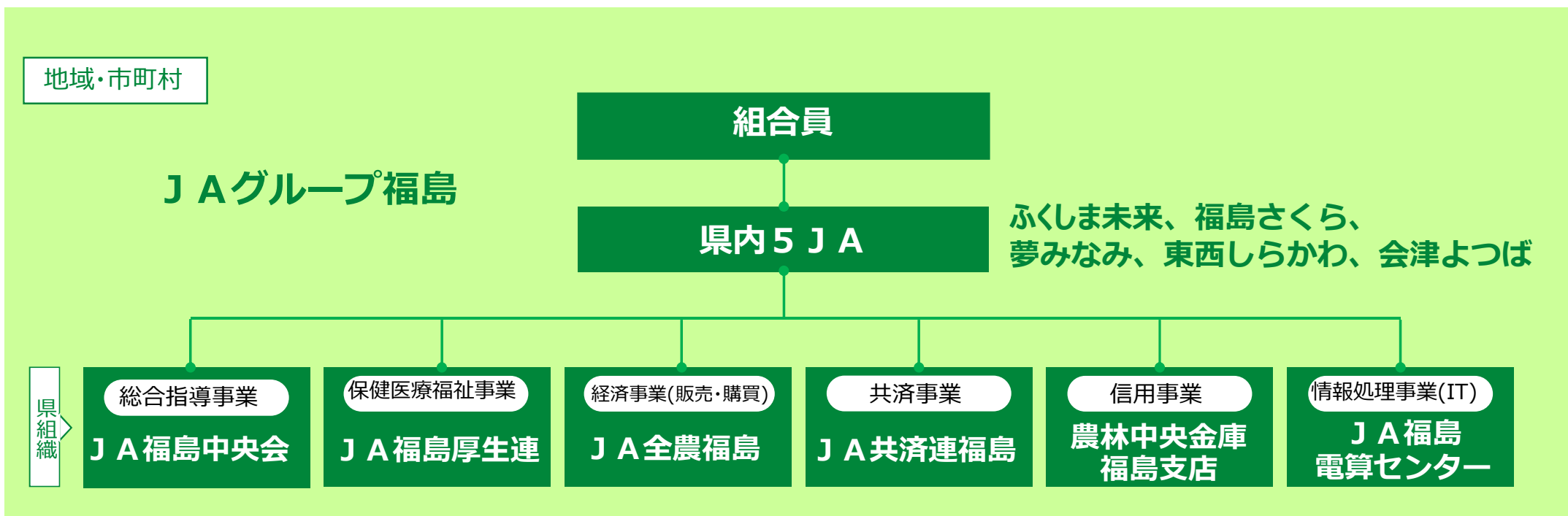
JAグループ福島の事業

まとめ



まとめ（その1）

- JAは「**総合事業**」、連合会・関係団体は「**単一事業- 各JA、連合会は、**それぞれ独立した組織（経営体）**。
「JAグループ福島」として一致団結することで、強みを発揮。**



まとめ（その2）

JAグループ福島をもっと知りたい！！

✓ JAグループ福島各団体（県内5 JA、各連合会・関係団体）
について、**積極的に情報収集しましょう！**



（例えば…）

- JAの公式サイトや就職情報サイト等で調べる！
- 新聞、TV、関連図書、インターネット、動画サイトで調べる！
- JAグループに就職した先輩や知人・友人に聞いてみる！
- JAグループ各団体で主催する
インターンシップ・職場説明会・セミナーに参加する！

etc…

（巻末）JA綱領～わたしたちJAのめざすもの～

わたしたちJAの組合員・役職員は、協同組合運動の基本的な定義・価値・原則（自主、自立、参加、民主的運営、公正、連帯等）に基づき行動します。そして地球的視野に立って環境変化を見通し、組織・事業・経営の革新をはかります。さらに、地域・全国・世界の協同組合の仲間と連携し、より民主的で公正な社会の実現に努めます。

このため、わたしたちは次のことを通じ、農業と地域社会に根ざした組織としての社会的役割を誠実に果たします。

わたしたちは、

- 1.地域の農業を振興し、わが国の食と緑と水を守ろう。
- 1.環境・文化・福祉への貢献を通じて、安心して暮らせる豊かな地域社会を築こう。
- 1.JAへの積極的な参加と連帯によって、協同の成果を実現しよう。
- 1.自主・自立と民主的運営の基本に立ち、JAを健全に経営し信頼を高めよう。
- 1.協同の理念を学び実践を通じて、共に生きがいを追求しよう。

